

平成28年8月2日

大平 勇議長

議員 西口真理  
海住恒幸  
深田 龍

## 報告書

平成28年7月23日に名古屋市で開催された「議員力研究会」に参加しました。

### 第2回議員力研究会例会

主催 議員力研究会

開催日時 平成28年7月23日午後1時～5時

会場 名古屋市那古野コミュニティセンター2階会議室  
(名古屋市西区那古野、名古屋駅から徒歩10分)

#### 記

グループ阜のメンバー3議員が会員となっている研究会で、愛知や岐阜県内の市町議員10人とともに、メンバー各自の一般質問の結果や、それぞれの自治体で共通のテーマとなりそうな課題を持ち寄り報告するとともに議論を行う場です。講師には、元多治見市職員で、同市議会事務局長も務めた青山崇氏をお迎えしています。

## 第2回議員力研究会

期日 2016年7月23日(土)

時間 13:00～17:00

場所 名古屋市那古野コミュニティセンター

### 1. 事例発表 13:00～

・各市議会での個人の一般質問を発表し、質問内容、手法などを検討する

① 安藤 直実（恵那市議会議員） ～13:50

「恵那市中山道広重美術館について」

② 杉山 元則（各務原市議会議員） ～14:40

「各務原航空宇宙科学博物館リニューアル事業予算について」

③ 深田 龍（松阪市議会議員） ～15:30

「買い物弱者対策について」

### 2. 意見交換 15:40～17:00

内容 「公共下水道の受益者負担金の賦課方式をめぐる問題について」

（松阪市を例として、他市の状況や意見交換）

・提案趣旨説明                      ・事例紹介・意見交換

#### 【内容】

##### 1 事例発表

① 安藤 直実

来館者が減少、赤字が続く美術館。市の当初見込みが甘かったのではないかと。市民ニーズに合わせて美術館の方向性を見直すべきではないかと。との主旨の質問。市からの明確な反省や、答弁を引き出せなかったとの報告。

これまでの美術館を巡る経緯の説明を受け、他市における公共施設の採算性や必要性についての考え方を共有。引き出したい回答を得るためには、事前の調査・分析、根拠のある市民の声の提示が必要だ等の意見。

② 杉山 元則

当初の総事業費30億円が、1.6倍に膨れ上がった。増額の理由を質問したが、

答えてもらえなかった。リニューアル事業をめぐる県の思惑との関係、各務原市議会の状況、市民に説明のないまま進められている状況について説明を受けた。

質問の持ち時間、質疑の回数制限等、各市議会のルールの違いも大きい。真摯に質疑をしない執行部、議会多数派の中でどんな質問方法があったか。言葉の選び方、ポイント等の助言があった。

### ③ 深田 龍

高齢者のためのコミュニティバス等の移動手段、買い物支援への市の取り組み。複数の課にまたがる縦割りのため、情報の共有がなかったり、イニシアティブが不明確なため進まない対策。問題解決のため、チームづくりを執行部に求めた。「地域と行政が協議し、仕組みを作っていく」との答弁を得たが、今後の動きをしっかりと見ていく必要あり。

買い物弱者対策は、全国共通の問題であり、各市の取り組み状況、費用負担の状況、参考になる事例など、情報交換を行った。

## 2 意見交換

テーマ「公共下水道の受益者負担金の賦課方式をめぐる問題について」

- ・経過報告と提案主旨説明（海住 恒幸）
- ・意見交換
  - ・各市の現状報告
  - ・「面積割」の賦課方式が果たして公平か。市民の不公平感にいかに対応すべきか。
  - ・住民への説明責任を果たさない行政について、どう対応出来るか。

### 【所感】

・一般質問や議案質疑のあり方、持ち時間の決まりも議会によって様々（質問・答弁含めて50分、質問のみで30分など）、質問順の決め方、質疑の回数制限など、他市議会の状況を聞いて、大変参考になった。常任委員会に委員外議員は傍聴出来るが、発言は認められていない市や、議会基本条例のない市、全体的に見て、松阪市は議会改革は進んでいるが、まだまだ改善すべき点はあると気付かされた。

・公共施設の老朽化や建て替えにかかる財政問題、高齢者の買い物支援等、全国共通に抱える課題について、現状を共有し、情報を交換出来たのは有意義であった。

・実際の議会における質問を題材に、他者の目で検証する事はとても有意義である。得たい答弁を引き出せなかったのは何故か。言葉の選び方、質疑の組み立て方、資料の使い方、前準備など、ベテランの議員さんから示唆に富んだアドバイスをいただき、今後の質問力向上に繋げたい。